様式1

令和8年9月2日

令和 7 年度分　指定管理施設の管理運営状況**(年間)**モニタリング評価表

1 施設概要

施設の名称	浦添市立宮城っ子児童センター
指定管理者名	一般社団法人まちづくりうらそえ
指定期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日

2 利用状況

利用月	利用者目標数	利用者数	利用率%
4月～9月	7,500	8,627	115.03
10月～3月	7,500	8,469	112.92
合計	15,000	17,096	113.97

3 収支の状況

	予算額	実績額	差額
収入			
指定管理料	16,717,510	16,717,510	0
利用料金	228,000	273,100	-45,100
受取利息	21	5,602	-5,581
収入合計(A)	16,945,531	16,996,212	-50,681
支出			
人件費	13,056,833	13,192,769	-135,936
外部委託費	1,209,340	1,209,340	0
その他経費	2,679,358	2,239,655	439,703
支出合計(B)	16,945,531	16,641,764	303,767
収支合計(A)-B)	ー	354,448	ー

4 精算額　　354,448 円

5 自主事業

事業名	内容	利用者数
メリータウン(こども店長)	子どもたちが社会の仕組みを学ぶことを目的とする。お店の経営体験やグループでの役割分担を通じて責任感や協力する力を育むとともに、税金の大切さを学び、話し合いや一人一票の投票を通じて自分たちで決める経験をする。子どもたちが自ら考え、主体的に行動する力を養う事業。	152
オレたちの★★★クッキー	中学生が主体となり、クッキーやケーキなどのお菓子作りを実施。完成品は来館児童へのおやつとして提供するほか、地域の高齢者施設・包括支援センターへ届けた。子どもたちの「やってみたい！」という思いを形にして、その実現を支援する取り組みとして展開した事業。(一般社団法人児童健全育成推進財団こどもDoまんなかプログラム助成金)	80
たきだし	宮城小学校の敷地を会場に、防災をテーマにした炊き出し体験を実施。子どもからお年寄りまで100名が参加し、みんなで囲む温かい食事を通じて地域のつながりを育んだ。難しく考えるのではなく、笑って・話して・食べながら防災を身近に感じてもらうことを大切にした取り組みとして展開した事業。	100
合計		332

6 指定管理者の分析(サービス向上の取組等)

法令、児童館ガイドラインを遵守し、団体理念も生かし運営及び活動内容を深める取組を行っている。福祉と教育の融合を目指した教育的行事のメリータウンは、商品の仕入れ、販売品作り、販売、納税までの仕組みを楽しく学べるよう(キャリア教育)と社会仕組み子ども実行委員を中心に近隣学童を巻きこんだ取組を行っている。また、長年継続したホラーハウスは毎年テーマ―を設定し利用児童とOB、キャンプキンザ―の外国人が協力して会場づくりから運営を行っている。月～土までの夜間開放のため、中高校生や社会人の利用が非常に多いセンターである。

7 項目別評価表　　市評価年月日　　令和8年9月2日

指定管理者と市が評価する。　　(4:優良　3:適正　2課題含　1要改善)

施設の状況により、項目内容は変更する場合がありますが、25項目数は変更しない。

項目	維持管理に関すること(年2回以上) 【適正性】	自主評価	市評価
①	法令等を遵守しているか。	4	4.0
②	労働環境は適正か。	4	4.0
③	収入・支出の取扱は適正か。	4	3.5
④	年間事業計画のとおり業務を遂行しているか。	4	4.0
⑤	開館時間、休館等は適正か。	4	4.0
⑥	利用者の個人情報保護は適正か。	4	3.5
⑦	日常の事故防止、安全対策は適正か。	4	4.0
⑧	日常の清掃は適正か。	4	4.0
⑨	防犯・警備業務は適正か。	4	4.0
⑩	備品の管理は適正か。	4	3.5
⑪	施設の維持管理(修繕)は適正か。	4	3.5
⑫	危機管理体制(緊急時対応)は適正か。	4	4.0
⑬	施設の使用許可、使用料の減免は適正か。	4	4.0
⑭	利用者に対する接客や職員態度は適正か。	4	4.0
⑮	施設の維持管理に係る人員は適正か。	4	4.0
⑯	施設の定期保守点検は適切か。	4	4.0
16項目	小計	64	62.0

点数を記載する。

項目	経営等事務処理に関すること(年1回以上) 【効率性】	自主評価	市評価
①	適正な経理事務であるか。	4	3.5
②	省エネルギー等環境配慮に努めているか。	4	3.5
③	支出の減少を図る取組を行っているか。	4	3.5
④	職員の資質・能力の向上を図る取組をしたか。	4	4.0
4項目	小計	16	14.5
項目	【有効性】		
①	施設の設置目的が十分に達成できたか。	4	4.0
②	利用者の意見を把握するしくみが確立しているか。	4	3.5
③	協定は遵守しているか。	4	3.5
④	利用者の満足度はどうか。	4	3.5
⑤	地域のため貢献しているか。	4	4.0
5項目	小計	20	18.5
25項目	合計	100	95.0

8 評価基準

（前ページの25項目（年間）合計を100点満点とする。）

	評価点	評価内容
項目別評価	4	法令等を遵守し、計画された業務水準を超える指定管理者独自の取組を実施するなど、特に優れている。
	3	法令等を遵守し、適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準のとおり成果を上げている。
	2	法令等を遵守しているが、指定管理業務の一部に課題がある。
	1	法令等を遵守しておらず、改善の必要がある。又は年間を通じ計画された業務の水準を達成できなかった。

ここでの「法令等」とは、法令、条例、規則、協定書、仕様書、事業計画書等をいう。

	評価		評価内容
総合評価	A	優良	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ90点以上である。中間評価の場合は、53点以上とする。
	B	適正	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ75点以上90点未満である。中間評価の場合は、45点以上53点未満とする。
	C	課題含	市の項目別評価に2点が1つでもある。
	D	要改善	市の項目別評価に1点が1つでもある。

9 市の総合評価

評価	評価コメント
A	・概ね適正に管理運営されていることを確認した。当児童センターの特色の一つである、自主事業の教育的行事（メリータウン）は、社会の仕組みを体験的に学べる取組となっており、他の児童センターにとっても大いに参考になる考える。また、中高生や社会人の利用も多く、炊き出し体験も実施し、防災教育や子どもからお年寄りまで参加し、地域の世代間交流にもつながっている点は評価できる。 ・当施設は広域的に利用されており、一般利用者も多い児童センターとして、効率的な運営が図られている。また、創意工夫を凝らした自主事業に主体的に取り組むとともに、職員の資質向上に向けた研修等も積極的に実施している。 ・警備委託料については機械警備のみによる対応の可否も含め、所管部署と協議の上、必要な対応を図られたい。